発行
ニュースパーク
横浜市中区日本大通11
横浜情報文化センター
電話045(661)2040

NEWSPARK TIMES

2026年（令和８年）
2月1日　日曜日

「情報社会と新聞」学ぶ

展示が語る歴史と今
ニュースパークを見学

2月1日、横浜市中区日本大通の「ニュースパーク」（日本新聞博物館）を見学し、情報社会と新聞について学びました。3階・常設展示室には、新聞に関する歴史的資料や情報社会の現状が展示されていました。2階・企画展示室で開催中の企画展「2025年報道写真展」では、報道写真の役割と写真記者の活動について理解を深めることができました。

ニュースパークは2000年10月、日刊新聞発祥の地・横浜に開館。16年夏のリニューアルにより、体験と交流を通じて、情報社会を学べる施設になりました。19年4月には歴史と現代の両面から、確かな情報の大切さと新聞の役割を学ぶ展示に改修しました。

3階の常設展示室には、全国の約100紙が並ぶ「新聞の壁」を背景に記念撮影＝2月1日、横浜・日本大通のニュースパークで

「新聞の壁」の前で記念撮影

所蔵する歴史的資料約20万点のうち約200点を展示しています。

明治・大正時代に発展した日本の新聞は、やがて戦争の時代を迎えました。戦後、新聞も再出発、政治や社会のあり方を伝え、災害報道でも大きな役割を果たします。

現在では、情報の量が爆発的に増えており、信頼性があやふやなものもあふれています。そうした状況にどう対処するかを学ぶとともに、新聞記者がどのような思いを込めて取材し、新聞が出来上がるのかも見ることができます。

3階には、全国の新聞各紙を読める「新聞閲覧室」もあります。

新聞を使って学校や家庭でできる学習を、動画やウェブサイトで紹介しています。ぜひ、ご覧ください。

体験プログラムも用意

ニュースパークの2階・製作工房には、個人でできる「マイ新聞」づくりがあります。3階・常設展示室では取材体験ゲーム「横浜タイムトラベル」や新聞配達体験ゲーム、輪転機ゲームなどがあり、楽しみながら新聞について学ぶことができます。

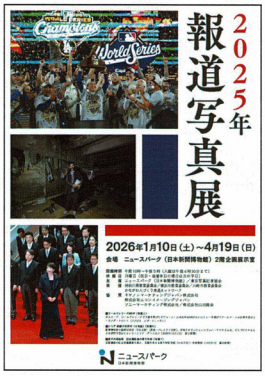
「横浜タイムトラベル」は、日本大通り周辺のジオラマにタブレットをかざすと、過去の横浜にタイムスリップ。そこで取材した内容に沿った新聞を持ち帰ることができます。

また学校など団体向けには、記者出身の「新聞製作マネジャー」による「パソコンで新聞づくり」「新聞レクチャー」と、ワークシートを使って常設展示を「取材」する「取材クルーズ」があります。

決定的瞬間で振り返る
報道写真厳選300点を展示

東京写真記者協会加盟の新聞、通信、放送（NHK）33社の記者が2025年に撮影した報道写真の中から、政治・経済・社会・スポーツ・芸能など幅広いジャンルの決定的瞬間を捉えた約300点を展示しています。

国内外の動きを捉えたさまざまなジャンルの報道写真を通じて、1年を振り返ります。当館での開催は20回目です。



写真展展示写真作品